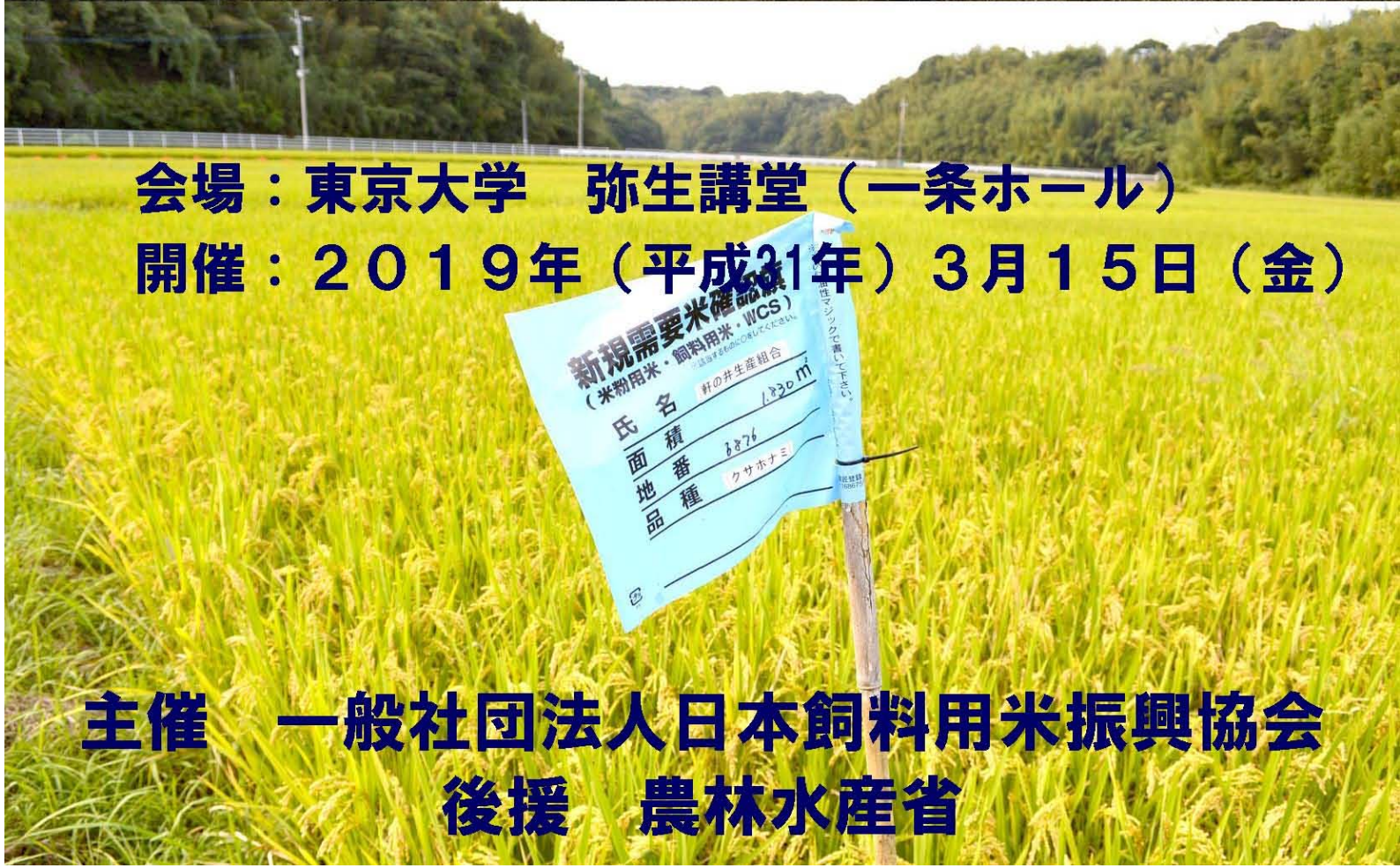


**第5回（通算第12回）飼料用米を活かす日本型循環畜産推進交流集会**  
**平成30年度**  
**飼料用米多収日本一表彰式**  
**飼料用米活用畜産物ブランド日本一表彰式**  
**飼料用米普及のためのシンポジウム2019**



**会場：東京大学 弥生講堂（一条ホール）**

**開催：2019年（平成31年）3月15日（金）**

**新規需要米確保協議会**  
**（米粉用米・飼料用米・WCS）**  
稲の井生産組合  
氏名 〇〇〇〇  
面積 〇〇〇〇  
地番 〇〇〇〇  
品種 クサホネミ

**主催 一般社団法人日本飼料用米振興協会**  
**後援 農林水産省**

## 開催趣旨

一般社団法人飼料用米振興協会は、2008年（平成20年）に起きた世界的な穀物相場の高騰の際に、国内の畜産農業を守り、食料自給率の向上などを目的に開催された「学習会」を起点に組織された「超多収穫米普及連絡会」が出発点です。

こうした「学習会」の流れをくむ本シンポジウムは、様々な研究や事業、消費に至る飼料用米の一貫した様々な取組を理解していただく「集い」として企画しており、消費者、主婦をはじめ、配合飼料メーカー、物流事業者、保管事業者、農業協同組合、農事法人、農家、研究者、学生など、様々な方が日本における水田のフル活用、そして飼料用米の利活用について共に考え、交流する場となることを目的としております。

2015年（平成27年）以降、5回目の開催となる本年度は、日本の米政策にとって大きな転機となった年でした。これからは、行政による生産数量目標の配分に頼ることなく、農業者自らがマーケットの動向等を見ながら、自らの経営判断や販売戦略に基づき需要に応じた生産を行っていく必要があります。

今年のシンポジウムでは、こうした農業を取り巻く環境の変化の中、食料自給率の向上といった命題がなお重要性を増していることに鑑み、改めて飼料用米の今後の方向性を探ろうと試みております。

本シンポジウムにご参加の皆様が、これを機に改めて飼料用米の重要性に気づき、また皆様が起点となってその気づきを広めていただくきっかけになれば幸いです。

### 飼料用米普及のためのシンポジウム 2019

主催：一般社団法人日本飼料用米振興協会

後援：農林水産省

### 「飼料用米多収日本一」表彰式

主催：一般社団法人日本飼料用米振興協会・農林水産省

後援：全国農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会、協同組合日本飼料工業会

協力：日本農業新聞

### 「飼料用米活用畜産物ブランド日本一」表彰式

主催：一般社団法人日本養豚協会

後援：農林水産省、全国農業協同組合中央会、公益社団法人中央畜産会

#### 表紙の写真説明

2019年2月に竣工した有限会社鈴木養鶏場の飼料用米保管サイロ

提携農家（大分県日出町軒の井生産組合の佐藤代表）の飼料用米圃場。左：佐藤さん、右：鈴木さん。



# 飼料用米普及のためのシンポジウム2019

## プログラム

- |          |  |              |
|----------|--|--------------|
| <b>1</b> | <b>開会</b>  | <b>11:00</b> |
|          | 開会挨拶<br>一般社団法人日本飼料用米振興協会 理事長 海老澤恵子<br>日本生活協同組合連合会 常務理事 山本 克哉<br>農林水産省政策統括官付穀物課長 堺田 輝也                              |              |
| <b>2</b> | <b>基調講演</b>  | <b>11:20</b> |
|          | 「飼料用米の推進について」<br><br><div style="text-align: right;">農林水産省生産局畜産部飼料課長 犬飼 史郎</div>                                   |              |
|          | (休 憩)  |              |
| <b>3</b> | <b>表彰式</b>   | <b>13:00</b> |
|          | 「飼料用米多収日本一」表彰式<br>「飼料用米活用畜産物ブランド日本一」表彰式<br><br>(休 憩)   |              |
| <b>4</b> | <b>活動報告・講演</b>   | <b>14:30</b> |
|          | (1) 「飼料用米を取り扱って10年、今後に期待する！」<br><div style="text-align: right;">有限会社鈴木養鶏場 代表取締役会長 鈴木 明久</div>                      |              |
|          | (2) 「こめたまごの販売による飼料用米の普及拡大の取組」<br><div style="text-align: right;">昭和鶏卵株式会社 代表取締役社長 不破 恒昭</div>                      |              |
|          | (3) 「飼料用米の新品種開発の現状と今後」<br><div style="text-align: right;">一般社団法人日本飼料用米振興協会 理事 信岡 誠治</div>                          |              |
|          | (4) 「協同組合連携の取り組みについて～生産者から消費者までの協同を広げる～」<br><div style="text-align: right;">一般社団法人日本協同組合連携機構 (JCA) 常務理事 青竹 豊</div> |              |
| <b>5</b> | <b>総括質疑</b>  | <b>16:15</b> |
|          | 進行：一般社団法人日本飼料用米振興協会 理事 信岡 誠治   |              |
| <b>6</b> | <b>閉会</b>  | <b>17:00</b> |
|          | 閉会挨拶 一般社団法人日本飼料用米振興協会 副理事長 加藤 好一   |              |

## 資料展示

会場：ロビー

太陽工業株式会社

飼料用米の屋外・常温保管ユニット、防疫対策としての通路改良剤など

昭和鶏卵産業株式会社

オール国産配合飼料使用鶏卵：和のしずくなど

株式会社平田牧場

飼料用米給与の金華豚・三元豚

有限会社鈴木養鶏場

飼料用米生産者との提携、飼料用米を給与した卵、有精卵、スイーツ、鶏肉

東都生活協同組合

飼料用米育ちの米たまごなど

一般社団法人日本飼料用米振興協会（監修・信岡誠治）

飼料用米の役割と飼料用米の低コスト生産など

## 試食会

会場：会議室

有限会社鈴木養鶏場

飼料用米を給与した鶏卵を使用したスイーツ

昭和鶏卵産業株式会社

オール国産配合飼料使用鶏卵のゆでたまご

株式会社平田牧場

飼料用米給与の金華豚・三元豚のシャブシャブ

## 意見交流懇親会

会場：上海・四川料理 「美味しい屋」  
東京大学正門前

シンポジウム終了後、希望者による意見交流懇親会を開催します（17:30～、会費制 3,500 円）。事前のご登録がなく、当日参加をご希望される方は、受付にてお申し出ください。

## 飼料用米普及のためのシンポジウム2019

主催 : 一般社団法人 日本飼料用米振興協会  
正社員 : 生活クラブ事業連合生活協同組合連合会  
全国農業協同組合連合会  
木徳神糧株式会社  
昭和産業株式会社  
株式会社秋川牧園  
シンジェンタジャパン株式会社  
中国工業株式会社  
ヤンマーアグリジャパン株式会社  
中野区消費者団体連絡会  
NPO未来舎

賛助会員 : 日本生活協同組合連合会  
生活協同組合おかやまコープ  
庄内みどり農業協同組合  
栃木県開拓農業協同組合  
株式会社平田牧場  
JA加美よつば農業協同組合  
滋賀県飼料米利活用推進協議会  
太陽工業株式会社  
株式会社木村牧場

協賛団体 : 東都生活協同組合 生活クラブ事業連合生活協同組合連合会

## 飼料用米多収日本一表彰式

主催 : 一般社団法人日本飼料用米振興協会 ・ 農林水産省

後援 : 全国農業協同組合中央会 全国農業協同組合連合会 協同組合日本飼料工業会

協力 : 日本農業新聞

## 飼料用米活用畜産物ブランド日本一表彰式

主催 : 一般社団法人日本養豚協会

後援 : 農林水産省、全国農業協同組合中央会、公益社団法人中央畜産会

14:30~14:55 活動報告 (有)鈴木養鶏場(大分県) 代表取締役会長 鈴木 明久

「飼料用米を取り扱って10年、今後に期待する！」

# すすきさんちの たまご新聞

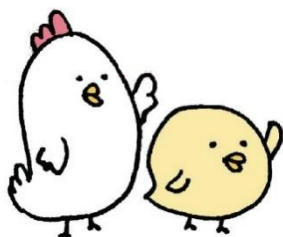
2019年3月 春 vol.08

大分県日出町の鈴木養鶏場の情報満載ニュースレター



日本飼料用米振興協会の鈴木養鶏場 飼料用米取組視察の様子

## 特集 鈴木さんちと飼料用米



大分県の飼料用米生産・利用を促進

してきた鈴木養鶏場の取組特集！

全国でもトップクラスの飼料用米の生産・利用

地域農業と養鶏の未来

2007年に近隣の水田農家の協力を得て試験的に飼料用米生産を開始して、鈴木養鶏場では飼料用米を鶏に与え始めました。

このことは、養鶏飼料の主原材料が米国のトウモロコシ、EUの麦に対して、わが国の広範な休耕田、転作田を活用した飼料用米生産による日本型の飼料原材料生産とすべきとの信念に基づく取り組みでした。この取り組みにより地域の行政および稲作農家の飼料用米生産への理解・支援が急速に広がっています。全国でもトップクラスの飼料用米の生産・利用を行なっている鈴木養鶏場と飼料用米のこれまでとこれからを特集します。

鈴木さんちの鶏たちが食べているお米とは？

## 飼料用米大特集

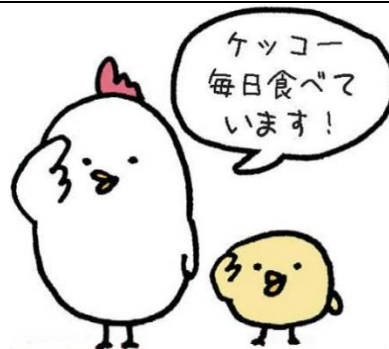
飼料用米を提案した鈴木会長と飼料用米の生産者 佐藤代表のインタビュー



左側 佐藤さん 右側 鈴木会長



鈴木養鶏場 鈴木明久 会長



地域の水田を守り 地産地消に貢献飼料用米の促進とブランド卵の完成



飼料用米貯蔵工場（飼料配合もこちらで行なっています）



飼料用米貯蔵タンク



新設備が2月に竣工しました。

**Q.飼料用米を使うようになったきっかけは？**

約50年前にさかのぼりますが、養鶏業をやり始めた時に、オイルショックで外国産の飼料価格が2倍になったことがあります。この原体験から、外国産の飼料に依存せず、いつか国産の飼料を作らなければとずっと考えていました。10年前に、日本人のお米の消費が減り続け田んぼが無くなりつつある状況もあったので「せつかく田んぼがあるなら飼料用米を作ってみてはどうか」と提案し、実験的に小規模で作ってもらったことが始まりです。

**Q.この10年でどんな変化がありましたか？**

国からの積極的な後押しもあり、飼料用米を作る大分県内の農家さんも増え続けています。現在年間2,000トンの飼料用米を購入しています。また鶏糞を農家さんにお届けすることで循環型農業のお役に立てています。

**Q.農家さんと直接取引をしている理由は？**



飼料用米を商品化するためには、運搬費、選別費、検査料などにお金がかかります。その負担を軽減するために私たちが運搬・選別・検査を一括して行なって直接購入しています。Q.飼料用米で作ったブランド卵はどんな卵ですか？

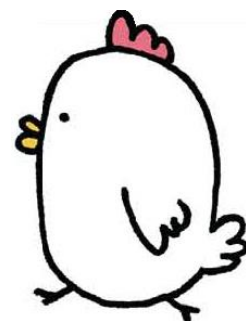
飼料用米を食べた鶏が産んだブランド卵の第1号は「豊の米卵」です。そこから更にアニマルウェルフェア鶏舎を導入し「優香」「大樹」といったブランド卵が誕生しました。

### Q.今後の目標は？

つい最近、飼料用米を貯蔵するタンクを増設しました。今までの2倍となる2,500トンは貯蔵できるようにしたので、外国産の飼料はゼロにして今後は国産飼料100%を目指していきたいですね。



大分県日出町軒の井生産組合の佐藤代表



## 飼料用米を作り続けて 10 年今は食米より多く作っています



### Q. 飼料米を作るキッカケは？

10年ぐらい前に鈴木会長がうちの組合に来て「飼料米を作ってみない？」と提案してくれたことがキッカケですね。当時はまだ、国の政策として飼料米づくりが推進されていなくて国の助成金もない時代。農家の間では、丹精込めて作ったお米を家畜に食べさせることに否定的な考え方もありました。どうしようかな？と思いましたが、「たくさんじゃなくて少しでいいから」と鈴木会長に勧められ、はじめは 0.5

アール分だけ作ってみました。

### Q.作り始めてどんな変化がありましたか？

作り始めて2、3年経つと情勢が変わってきて、国が積極的に飼料米を推進し始めました。水田をより活用するためにも、飼料米の生産スペースを増やしていきました。現在は、うちの15ヘクタールの水田の作付けのうちに、10ヘクタールが飼料米、残りの5ヘクタールが食米となっています。作った飼料米の全てを鈴木養鶏場さんに買い取ってもらっています。

### Q.今後の展望はどうでしょうか？

飼料米を作るのも食米を作るのも「この地域の水田を守るため」というのが基本的な考え方です。水田を守ることで水田の保水力が減災にも繋がります。この辺りは中山間地が多くて、ちょっと目を離して、田畑の手入れを怠ると荒れてしまい藪になり、5～10年経つと復元するのも難しい状態になってしまいます。近くの海水浴場やハーブ園を訪れる皆さんからは、「この水田はよく管理されているね。春は麦、夏は青稲、秋は稲穂が見られる。ここの農園の風景が見られて和やかな気持ちになれるよ」と言葉をかけられることもあり、水田を守る意義を感じています。今後は維持だけでなくより発展させていきたいですね。

**まもなく完成！**

**創業50年の全てを注いだ新商品**

**平飼有精卵 豊の米卵**

2019年は鈴木養鶏場にとって創業50年となる節目の年です。この記念年に卵づくり

にかけてきた50年間の想い・知識・経験を全て注いだ新商品を発売します。

商品名は『平飼有精卵 豊の米卵（ひらがいうせいらん とよのこめたまご）』。この卵は3つの特徴があります。(1)人にやさしい：主原料の穀物には大

分県産飼料用米を中心に使用しトウモロコシの比率が低いため油分の少ないヘルシーな味) (2)にわとりにやさしい：とまり木や産卵場所がある広々としたス



ペースでオス・メス仲良くにわたりの快適性（アニマルウェルフェア）に配慮した自然により近い飼い方です。(3)環境にやさしい：地元で採れたお米を餌にして鶏糞を水田に戻す地域循環なので国土保全や原料輸送距離の短いエコフィード。『平飼有精卵 豊の米卵』は、まもなく発売予定。鈴木が50年が詰まった卵、ぜひご賞味ください！

## 2019年度飼料用米売買覚書

〇〇営農組合（以下「甲」という。）と有限会社鈴木養鶏場（以下「乙」という。）は、甲の生産する 2019年産飼料用米の生産・出荷に対し、次の通り契約を締結する。

（面積・数量）

### 第1条

甲が乙に供給をする数量は、別紙に記載した「出荷契約面積及び地番・数量等一覧表」とする。

### 第2条

天候・災害等甲の責に帰さない理由により第1条の数量が変動した場合は、当該面積・数量について本契約は有効とするが故意に「捨て作り等」の栽培・収穫作業があれば本契約は無効とする。

（約定事項）

### 第3条

- (1) 甲は飼料用米の生産、乾燥（モミ水分 **14%**未満）及び一時保管とする。
- (2) 乙は飼料用米の運送、計量、給餌用保管及び給餌とする。
- (3) 収穫量が多く乙の保管スペースが不足する時は、甲乙協議のうえ、甲に保管を依頼する。
- (4) 安全性の確保について甲は関係法令等を遵守し、且つ生産工程管理計画に従い、栽培履歴記帳をして飼料用米を生産する事。（特に農薬取締法等）
- (5) 品質については、甲は特性である多肥料栽培に努め高たんぱく質米の生産をめざし、未熟米や夾雑物（ワラ、ワラスボ）の混入防止に努める。

(6)代金決済は、飼料用米(粳米)25 円/kgで支払サイドは乙の受け入れ後 90 日以内とする。

(7)地域循環と耕畜連携の為、当社発酵鶏糞を甲は、10a 当たり 1000kg以上を目安に施用してください。

鶏糞単価は 500kg 以上 1000kg 未満は 10 円/kg とし、1000kg 以上施用は 8 円(粳米鶏糞 供税込、鶏糞代は粳米代と相殺)。但し、鶏糞を500kg/10a 当たり未満施用の場合は鶏糞代を無料とし、粳買取価格は 10 円とする。

(粳米、鶏糞の配送費は 3 円/kg、粳米検査料は 1 円/kg)

(8)ペレット鶏糞は通常鶏糞の2倍の価格とする。

(9)粳米集荷時に次年度の鶏糞を持ち込む場合は、鶏糞の配送費を無料にする。

#### 第4条

甲と乙の契約期間は 1 年間とする。なお、天候災害等、甲乙の責に帰さない事由が生じた場合は、公序良俗を旨に両者協議する。



ケッコウうまいね

#### 新しい卵スイーツ誕生!!たまごたっぷりパウンドケーキ



皆様こんにちは。 鈴木養鶏場の鈴木です。  
鈴木養鶏場はフル稼働で頑張っています！

鈴木養鶏場では、自社で様々な卵スイーツを作っていますが、定期的に新しい商品開発を行い、販売しています！！

昨年12月には、たまごたっぷり優しい風味のパウンドケーキも誕生しました。  
開発したのは 菓子部の甲斐さん です。



### 甲斐さん！みなさんにコメントをどうぞ！

『菓子部では定期的にみんなで新商品を開発しています。今回商品化したパウンドケーキは完成・販売までにいろんな試行錯誤がありました。工夫した所は、しっとり感を出すためにレーズンやチョコを入れたところ。焼きあがった後にブランデーを塗って、香りが出るようにしたこともポイントです。もちろん鈴木養鶏場の新鮮卵をふんだんに使い、ケーキ1本につき卵を2コ使っています。ぜひ召しあがって下さい！』

**パウンドケーキは1本 500円（税別）！！**

スタッフ一同で試作を重ねて一品、ぜひ一度ご賞味くださいね！



### すずらん食品館

鈴木養鶏場のたまごをたっぷり使ったスイーツ販売店

『すずらん食品館』

住所／大分県 速見郡日出町 藤原 5707-12

電話番号／ 0977-72-6734

交通手段／ 大神駅から 2,387m

営業時間 [月～土] 9:00～18:00

[日] 9:00～17:00 ※ 日曜営業

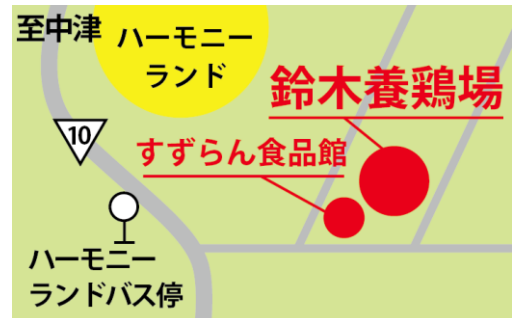
## すずきさんちのたまご新聞 第8号

発行：(有)鈴木養鶏場

〒879-1502

大分県速見郡日出町藤原 5707-12

**TEL 0977-72-6734**



FAX 0977-72-1410

HP [suzuki-egg.jp](http://suzuki-egg.jp)